

4 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成23年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成23年度に12回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定、施設整備及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編入学、修了判定教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成23年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成23年度に臨時教授会4回を含む12回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定、施設整備及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科教授のほか看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

5 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、人材育成・継続教育部門、国際交流部門、紀要編集委員会の4セクションに構成員を配置して、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議(計12回開催)で課題や情報を集約したほか、知的財産委員会を構成し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で地域に還元するため、地域連携活動の協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、産官学連携を目的とした学外との研究交流会を初めて開催し、ネットワークづくりに着手した。また、札幌芸術の森との連携協定を締結した。

<人材育成・継続教育>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした14コース・21コマの講座を、延べ834名が受講した。

<国際交流>

台湾の華梵大学との交流協定締結を行った。また、初めての承德医学院学生受入れプログラム、華梵大学とのデザインワークショップを実施した。国際交流事業促進支援制度(短期)実施要領を定めた。

<紀要編集>

研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第6巻」の発行にあたり、全ての投稿論文について査読を経て掲載の可否を決定し、10件の論文を掲載した。

<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究19件、共同研究1件、また寄附金3件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費(学術奨励研究費・共同研究費)の公募と審査に係わる制度設計を行った。また、両学部の教員の交流を図るため、研究交流会を企画・実施した。

<知的財産委員会>

「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業：(工業所有権情報・研修館主催)における広域大学知的財産ネットワーク」(①北海道地域中小規模大学知財ネットワーク、②保健医療福祉、工学系分野に芸術系分野を融合させた広域連携ネットワーク)へ加盟した。当該事業から派遣される大学知的財産アドバイザーによる「知的財産セミナー全11回」を全学FDとして開催した。

教員の職務発明における大学への権利継承の是非について判断基準を整備した。整備した基準に基づき年間8件の発明届けを審議し、6件を大学が権利の承継をすることとし、4件の特許出願を行った。

6 附属図書館

平成23年度は全10回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。結果、次のことを新たに導入・実施した。

教員選定図書(随時購入)制度の導入・実施、図書館システム「iLiswave-J V2」(富士通株式会社)の導入、自動貸出装置・自動入退館ゲートの設置、和雑誌・学会誌・文献検索データベース「最新看護索引Web」の新規購読、附属図書館ニュースレター「のほほん」5号の発刊等、各種事業。

この他、桑園図書館では書庫の増設により新たに約26,000冊の所蔵が可能となった。

7 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う試験区分ごとの従事者説明会の実施、入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成23年度は計10回の会議を開催し、前年度の結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領の策定、入学者選抜試験に係る現状分析、特別選抜試験(推薦入学)の入学手続者に対する入学前教育の実施及び平成25年度以降の入学者を対象とする選抜試験一部変更の決定等を行った。

学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、高校訪問及び進学相談会等についての企画・運営を行った。

8 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。平成23年度、本会議は開催されていない。